

☆最近の洋書雑誌より

「ヤング・チルドレン」(Young Children)の一九六五年十月号には、とくに、幼稚園およびナースリースクールの、貧困地域の幼児に対する対策の必要性について論説を掲げ、さらに次の号にまで、いくつかの論説を掲げている。それによると、貧困地域、過密地域の幼児保育の実験プロジェクトが各地に進行中とのことである。たとえば、ドイツ(Dauih)は、ニューヨークの公立学校の協力を得て、注目すべき研究を行なっている。このプロジェクトは多くの基礎研究をふくむものであるが、その一部に、とくに環境を豊富にする技法というのがある。それは、認知機能、記憶、言語発達、動機づけなどを中心とするものであるが、その全貌については未だ報告されていない。オルソンとラルソン(Olson & Larson)は、別の実験幼稚園で、とくに見学と言語経験を豊富にするというプロジェクトをもっている。経験を広げることによって概念をひろげ、思考力を伸ばしていくことができるだけだろうという考えにもとづいて

いるが、これも現在進行中のものである。ハルティモア市では、貧困地域の四才児を対象として、個人差と文化差に着目し、同様の実験学校の試みをしている。その他、二つほどの同系列の実験幼稚園のことが記してあるが、いずれも現在進行中のプロジェクトとのことである。保育効果の研究は、いろいろの条件が入るので、研究上困難な問題を伴うものであるが、最近、米国におけるこの面の研究を見るのに都合のよい書物が出版された。

N. L. Gage, Ed. Hand book of Research on Teaching: Rand McNally & Co., 1963
で、とくにその中の Pauline S. Sears and Edith M. Dowley Research on Teaching in the Nursery School は参考になる。

今月号の巻頭に、巖山政道氏が、九十年の回顧と展望について書いておられるが、幼児教育について、示唆をうけるところが大きい。都市化という社会の変化に伴って、保育研究の面からも、実際的に、また学問的に、今後研究すべき問題を多くかかえている。

(T)

幼児の教育 第六十五巻 第四号

四月号 © 定価八〇円

昭和四十一年三月二十五日 印刷

昭和四十一年四月 一日 発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所
フレール館にお願いたします